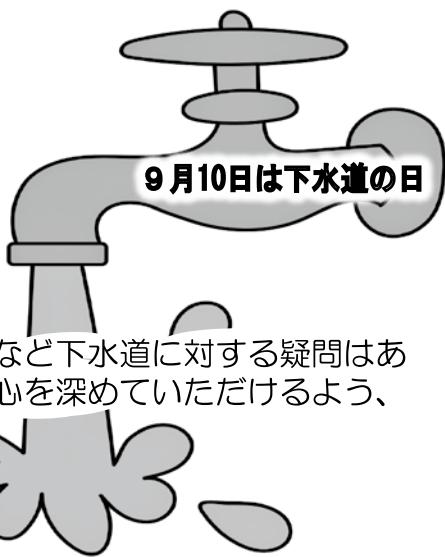


下水道施設見学会について 口問い合わせ まちづくり課 内線345

真鶴町では、「下水道の日」に伴い真鶴中継ポンプ場および湯河原町浄水センターの施設見学会を開催します。

「真鶴中継ポンプ場ってどんな施設?」、

「真鶴町の下水はどこに送られ、どうやって処理されるの?」など下水道に対する疑問はありませんか?実際に施設を見学することで下水道への理解と関心を深めていただけるよう、参加をお待ちしております。



下水道施設見学会の日程

- 日時 令和4年9月10日(土)午前9時集合
- 見学時間 午前9時~午前11時頃
- 内容 真鶴中継ポンプ場及び湯河原町浄水センターの施設見学
- コース 真鶴中継ポンプ場→湯河原町浄水センター
- 集合場所 真鶴町役場 南側駐車場(見学施設までは公用車にて送迎します。)
- その他
 - ・自家用車での参加はできません。
 - ・施設内を歩いて見学をしますので、動きやすい服装での参加をお願いします。
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のためマスクの着用をお願いします。
 - ・社会情勢により中止になる場合は、申込者にご連絡します。
 - ・真鶴中継ポンプ場の見学は、随時受け付けておりますので希望される方は、まちづくり課へご連絡ください。
- 申込方法 9月8日(木)午後5時までにまちづくり課へご連絡ください。
- 申し込み・問い合わせ まちづくり課 内線345

下水道の役割とは?

真鶴町で各家庭等から出た汚水(台所、洗濯、風呂、トイレなどの排水)は下水道管を通じて真鶴中継ポンプ場へ集められた後、湯河原町の下水処理場へと送られています。下水処理場では、活性汚泥法という方法で汚水が処理され、きれいな水に生まれ変わり、自然へと帰されます。

活性汚泥法とは、まず下水に空気を送り込んで、ある種の微生物を繁殖させ、水に溶けている栄養分(有機物)まで全部細菌に食べさせてしまい、お腹いっぱいの微生物を沈殿分離させ、きれいな水だけを川に流す方法です。その際に沈殿したものが下水汚泥です。下水汚泥は最終的には処分されるか、または、肥料やセメント等の材料となり有効利用されます。

下水道に接続すると?

- トイレや風呂等の生活排水が直接下水道管を通じて処理されることから、生活環境の向上が図ることができます、美しい海の実現が近づきます。
- 浄化槽から公共下水道へ切替える場合は、浄化槽の維持管理費用(保守点検料や電気代含む)が必要になります。(ただし、下水道使用料が発生します。)
- くみ取り式の場合は、くみ取り費用が必要なくなるとともに、異臭がなくなる等の衛生面での改善が図られます。

下水道を利用できるようになった区域の土地・建物所有者は、公共下水道への接続が、下水道法により義務付けられています。皆さんの安心で衛生的な暮らしのため、また、きれいな海を守るためにも、下水道への早期接続をお願いします。

